

2. 高血圧性脳出血の非手術的治療

2-6. 上部消化管出血の管理

推奨

重症脳出血例では特に消化管出血の合併に注意し、抗潰瘍薬の予防的投与が推奨される(グレードC1)。

●エビデンス

脳卒中後に胃潰瘍などの消化管出血は症例の3%に発症する。重症の脳卒中患者や高齢者ではより高率に起こる¹⁾(Ⅳ)。

抗潰瘍薬のうちファモチジン、ラニチジン、シメチジンの注射薬は「侵襲ストレス(集中治療を必要とする脳血管障害)による上部消化管出血の抑制」、ランソプラゾール、オメプラゾールの注射薬は「急性ストレス潰瘍および急性胃粘膜病変」に適応とされている。

引用文献

- 1) Davenport RJ, Dennis MS, Warlow CP. Gastrointestinal hemorrhage after acute stroke. Stroke 1996 ; 27 : 421-424